

ことうら議会だより

2022年5月1日発行 第72号



トピックス

- ・ 3月定例会 P 2
令和4年度一般会計予算 可決
- ・ 委員会の報告 P 6
陳情1件採択
- ・ 一般質問 P 8
新町長の政治姿勢を問う
- ・ 特集 P 19
町村議会特別表彰受彰
- ・ 新体制スタート P 20

春の陽に

新人議員 いざ行かん



令和4年度一般会計予算 可決

総額105億3,000万円 (対前年度比2.2%減)

賛成 13名 反対 1名

3月定例会は、3月4日～18日まで開かれ50議案を審議した。
令和4年度一般会計予算案については、賛成13名 反対1名
で可決された。

令和4年度一般会計予算案について

賛成

(金光敦 議員)

私は、令和4年度の骨組みになる予算だと思
います。特に反対するものもありませんので、予算
に対しては賛成いたします。

反対

(桑本賢 議員)

反対理由は、浦安地区公民館移転事業であ
ります。私は地区公民館というのは、社会教
育課の中に置いていてももう難しいだろう
と、これからは地域福祉あたりを中心にしな
がら進めていく必要があります、大いに賛成した
ものであります。半年前、福本町長は町議会
議員でありましたが「私は町民の理解がまだ
進んでないうちは反対だ」と、こういうこと
で、真っ向から反対されました。半年後に町
長に当選されたら、全く同じことを提案され
ました。私は内容に反対するわけではありません。半年前から立場が変わったかもしれま
せんが、私は納得いかない。内容に賛成しな
がら、この予算案には反対の討論をさせてい
たいただきます。



浦安地区公民館移転先となる琴浦町社会福祉センター



欠席 1

○主な事業としては

・スマート農業推進	1,900万円	
・米価下落影響緩和対策	2,163万円	
・空き家等実態調査	528万円	
・浦安地区公民館移転	4,293万円	
・旧安田小学校改修設計業務	600万円	
・デジタル専門人材活用	253万円	
・公共施設劣化状況等調査	200万円	
・町営バス運行委託	9,181万円	など

副町長の選任につき同意を求めることについて

副町長の選任について同意を求められ、同意した。

田邊 正博（48歳）

安田財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて

安田財産区管理委員の選任について同意を求められ、同意した。

永田 温美（70歳） 八幡

人権擁護委員に対しての意見を求めることについて

人権擁護委員の再任について意見を求められ、適任と認めた。

大谷 順子（70歳） 赤碓 定常 みどり（66歳） 別宮

2月臨時会（2月21日）

監査委員の任命につき同意を求めることについて

監査委員の任命について同意を求められ、同意した。

議員選出 監査委員 田中 肇

この度、町の「機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例」の制定によって、新たに「町民生活課」が設置されたことに伴い、教育民生常任委員会が所管する課に「町民生活課」を追加する改正を行うもの。

琴浦町議会の議員報酬の期末手当に関し、一般職の国家公務員の給与改定に準じて改正された特別職の国家公務員の給与の額の改定に準じて、以下の改正を行うもの。

- (1) 令和4年度以降の期末手当の支給割合を、6月期、12月期それぞれ現行の1.675月を1.625月に改める。
- (2) 令和4年6月に支給する期末手当の額は、改正後の琴浦町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例に基づき算定される額から令和3年12月に支給された期末手当の額に167.5分の10を乗じて得た額を減じた額とする。

コロナ禍でも基本的に開所が求められている保育所等の施設では、感染対策をしながら、子どもの命と健康を守り、発達を保障する保育が行われている。しかし、感染対策を徹底することで日常の業務量が増え、また、保育の営みにおいては「密」を避けることは困難であることなどから、職員の精神的・肉体的な負担が大きくなり、このことが保育士不足に拍車をかけている。

岸田政権が分配戦略の柱に掲げる保育士などに、令和4年2月から3%程度（9,000円）の賃上げを決定したが、貧しい保育士配置のなかで、わずかな賃上げでは処遇改善には程遠いと言わざるを得ない。

コロナ禍への対応として、保育所等における「密」な環境を是正し、感染症対策を徹底し、手厚い保育を行うためにも、保育所の施設・職員配置基準の改善が急務である。

小学校では、コロナ禍を受けて少人数学級化の全学年での実施が決まり、順次実施されている。2021年度『学校基本調査』によれば、公立小学校の学級あたりの平均児童数はすでに22.7人になっており、今後20人前後の学級が増えると予測されるが、小学生よりも幼い乳幼児が長時間生活する保育所等の4・5歳児の配置基準（子ども30人に保育士1人）が70年以上も放置されているのは由々しき事態と言わざるを得ない。

コロナ禍のなかで、保育環境の改善、職員の処遇改善を求める保護者、職員、地域住民の声は大きくなっており、いまこそ国が責任をもって改善を進めることが求められている。

よって、国におかれては、必要な財源を確保し、下記の事項について実現されるよう強く要望する。

記

1. 国は、保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）と保育士の処遇の抜本的な改善をすること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和4年3月18日

鳥取県東伯郡琴浦町議会

決 議

琴浦町議会は、ロシアによるウクライナ侵攻に抗議するため、「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議」を全会一致で行った。

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議

令和4年2月24日、ロシアはウクライナへの侵攻を開始した。国際社会が痛烈に非難する中、いかなる理由があれ、このような行為は明らかにウクライナの主権と領土を侵害するものであり、武力による威嚇及び武力の行使は明らかに国連憲章に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす行為であり、断じて容認できない暴挙である。

また、琴浦町は「人権尊重の町」であり、人道的見地から断固抗議する。

琴浦町議会は、ロシア軍によるウクライナへの侵攻に断固抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止とウクライナ領土から直ちに全ての軍隊を撤退させること及び誠実に国際法を遵守し、平和的に対応することを強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月9日

鳥取県東伯郡琴浦町議会

請 願 ・ 陳 情

番号	件 名	提出者	要 旨	付 託 委員会	委員会 の意見	本 会 議 採決結果
3年 陳情 第16号	保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考 える会 会長 石井 由加利	国に対して保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める。	教育民生	採択	採択

賛否が分かれた議案等の起立採決による審議の結果

議 案 等	審議結果		金 光	小 椋	谷 田	田 中	川 本	山 本	押 本	澤 田	桑 本	川 本	小 椋	手 嶋	前 田	桑 本	井 木	大 平
	賛 成	反 対	敦	憲 浩	順 子	肇	善 孝	秀 正	昌 幸	豊 秋	賢 治	正 一郎	正 和	正 巳	智 章	始	裕	高 志
定例会 令和4年度琴浦町一般会計予算	可決	13	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	欠	議

この表に掲載していない議案は全会一致で可決、請願・陳情は全会一致で採択となった。

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長



委員会

総務産業常任委員会

委員長 川本正一郎

3月16日に委員会を開催し、各課からの報告事項等の説明を受け質疑を行った。
質疑終了後、浦安地区公民館の移転が計画されている社会福祉センターと、現在の浦安地区公民館の現状視察を実施した。

○琴浦町役場 年代別職員数 (単位:人)
(令和3年4月1日現在。特別職除く)

年代	人数
60代	5
50代	28
40代	68
30代	82
20代	36
合計	219

《 質疑応答 》

- Q** 琴浦町職員の人数と年齢構成は。
A 219名の職員、50代が少なく30代の職員が多い。
(令和3年4月1日現在) ※別表を参考
- Q** 各課及び学校などのOA機器の年間リース料は。
A 令和4年度は、8,741万円を予算化している。
- Q** 野菜振興対策事業の製氷機導入の目的は。
A 琴浦ブロックリーの出荷量増加に対応して、品質維持期間の拡大とピーク時の受入が可能となる。
- Q** コトウラファンサポーターの目的は。
A 琴浦町に愛着や関心のある人に「認定書」を付与して、定期的な情報交換と関係人口に係る事業などに協力していただく。
- Q** ふるさと広域連合への滞納整理徴収委託の状況は。
A 町税のうち徴収が困難な案件を徴収委託している。令和3年度の実績見込みは、延滞金も含む実績額は12,918千円、受託人数97人、受託金額26,646千円。



浦安地区公民館の視察
施設の老朽化が進み、建物の内外にひび割れが多くみられる。(昭和43年建設)

教育民生常任委員会

委員長 澤田 豊秋

3月15日に委員会を開催し、各課からの報告事項等の説明を受け質疑を行った。
また、付託された「保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書」について審査し、全会一致で採択することに決した。

《 質疑応答 》

- Q** まなびタウンの令和3年度公共施設個別施設計画は有効か。
A 長寿命化を見込んで、計画に沿った形で実施したい。
- Q** 成美地区公民館・ふなのえこども園の移転について、今後の方向性とスケジュールは。
A 来年度農地転用の手続きに移行。その後造成工事、詳細設計を計画。
- Q** 差別事象等対応マニュアルは既存のものを使うのか。どんな人が対応するのか。
A 既存のマニュアルをベースにして今後検討する。
- Q** 差別事象が発生したときには検討会議で対応とあるが、検討会議という名称そのものに疑問がある。対策委員会とすべきではないか。
A 再発防止のために対策を検討する会議。内容と併せて名称についても今後検討していく。
- Q** 「専門有識者等で構成する委員会」とは。
A 検討会議で集まっていたいただいた方を委員と呼んでいる。
- Q** 相談事業における支援で、文化センターの館長が人権施策基本方針に掲げた17項目に対応できるのか。
A 対応していきたい。
- Q** 放課後児童クラブの運営方法について、法人が受託しているところもあるようだが、町として検討したことがあるか。
A 本町も、長期休暇時に委託を実施しており、今後検討していく。

の 報 告



予算・決算審査特別委員会

委員長 押本 昌幸

令和4年度一般会計をはじめとする計17議案の付託を受け、3月10・11・14日の3日間、町提出の「事業説明書」に基づき関係各課からの聞き取りを行い、審議した。



歳出について

- Q JR赤碕・浦安駅の駅舎はどうなる。
- A JRの方針は、現駅舎を撤去しプレハブにするのが基本方針だが、無償譲渡を受けて活用したい。
- Q コンビニ収納はどのくらいか。
- A 令和2年度実績で総数155,385件中コンビニが11,453件7%、役場窓口が21,436件14%。
- Q 「集落支援員」の任期が1年では短いのでは。
- A 資格が「会計年度任用職員」なので、1年区切りの3年間まで。その後は国の指導で採用試験を実施。
- Q 「失語症コーディネーター」とは。
- A 言語・音声障がいではない、脳梗塞からくる身障者「意思疎通支援事業」の対象者で、県域で実施する。
- Q 中部ふるさと広域連合への負担金1,261万円の根拠は。
- A 町税滞納金の徴収委託料として、「連合」の規約に基づく負担金。人口、委託人数、収納額等で決まる。
- Q 2つの道の駅の維持管理費が大きく異なるが。
- A 「琴の浦（山陰道）」の方は、観光協会の維持管理費も含む。
- Q 空き家実態調査の委託料とは。
- A 専門家に委託し、年内をメドに実施するもの。
- Q 除雪車購入3千万円、リースではないのか。また、多機能であるべきと思うが。
- A 検討結果、購入が有利。多機能、また同様の車種について、計画により順次更新する。

- Q 「専用水道」から町営上水道への切り替えの負担金が足かせとなる、軽減を。
- A 調査結果後に検討したい。
- Q 給食費の無償化はいかがか。
- A 今後の検討課題。
- Q 森藤地区農地整備事業の遅れは農家にとっては大問題なのだが。
- A 暗渠管設置の遅れが原因。令和5年度終了は難しい。
- Q 平岩記念会館（総合公園内）、芝を張り宿泊施設にすればと思うが。
- A PFIでも検討するが、宿泊施設としては小さくて不向きと聞いている。
- Q 部落解放同盟補助金の内容について、対象外となった解放同盟主催の大会とは何か。
- A 部落解放研究第55回全国集会、部落解放第65回全国女性集会、第54回全国高校集会、第66回全国青年集会、第43回全国人権保育研究大会。

歳入について

- Q 町税等歳入増加は何。
- A 国の地方財政計画に基づく予算化。

付託された17議案すべて全会一致で可決することが適当であると決した。閉会。

R4年度事業説明書▶



委員会構成

令和4年3月7日時点

委員会名(定数) [所管]	氏 名	◎…委員長 ○…副委員長			
総務産業常任委員会 (8人) [総務課・企画政策課・商工観光課・税務課・出納室・農林水産課・建設住宅課・上下水道課・農業委員会・議会事務局]	◎川本正一郎 桑本 賢治	○小椋 憲浩 山本 秀正	井木 裕 川本 善孝	桑本 始	手嶋 正巳
教育民生常任委員会 (8人) [町民生活課・子育て応援課・福祉あんしん課 すこやか健康課・教育委員会]	◎澤田 豊秋 田中 肇	○谷田 順子 金光 敦	前田 智章	小椋 正和	押本 昌幸 (欠員1人)
議会広報常任委員会 (6人)	◎川本 善孝 小椋 憲浩	○金光 敦	山本 秀正	田中 肇	谷田 順子
予算・決算審査特別委員会 (16人)	◎押本 昌幸	○金光 敦	以下全議員		
議会運営委員会 (6人)	◎手嶋 正巳 川本 善孝	○井木 裕	川本正一郎	澤田 豊秋	山本 秀正

ここが聞きたい

一般質問

Q&A

一般質問とは、議員が、町長・教育長・農業委員会会長・選挙管理委員会委員長・監査委員などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて問うもの。

本町議会の質問時間は、1人30分以内（答弁時間除く）。

質問議員	質問事項	掲載ページ
通告1番 山本 秀正	1. 町長の政治姿勢について	9
通告2番 澤田 豊秋	1. 町長の政治姿勢について	10
通告3番 田中 肇	1. 住民サービスの向上について 2. 「分庁舎」の呼称について	11
通告4番 川本正一郎	1. 持続可能(SDGs)な町づくりについて 2. スマート農業の現状について 3. 町長の政治姿勢について	12
通告5番 手嶋 正巳	1. 町長の政治姿勢について 2. JA鳥取中央からの米価下落への支援要請について 3. 森林譲与税について	13
通告6番 川本 善孝	1. 1月23日に実施された町長選挙の結果について	14
通告7番 谷田 順子	1. 琴浦町人権尊重の社会づくり条例の推進について	15
通告8番 金光 敦	1. 体育施設利用について	16
通告9番 小椋 正和	1. 町長選での課題解決について 2. 過疎地域発展計画について 3. 防災計画について 4. 観光振興について	17
通告10番 押本 昌幸	1. 「新町長に聞く」（2/9放送TCC特集番組）で話された内容について訊く	18

※青字は、本紙では省略。

一般質問の答弁者に「〇〇課長」とあるのは、地方自治法第121条の規定により、町長及び行政委員会の長ほかから「委任を受けた説明員」として出席した課・局・室長の答弁。



一般質問通告書

問

町長の政治姿勢について

- ① 今後、カウベルホールをどうされるのか
- ② 天然(日本)芝をどのように活用されるのか

答

- ① ホールを活用するとなれば、利活用、管理運営、財源等をよく検討する必要がある **福本町長**
- ② 公共施設の芝生化は維持管理も含め適切な整備について検討する **福本町長**



山本 秀正 議員

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (12回 21分 + 41分) 62分

町長の政治姿勢について

問

この度の選挙公約として、「私は目指す！」という見出しで、その一つに「壊さない環境、活かす施設」ということで、「公共施設、公営住宅等の在り方を再検討」とあり、「カウベルホール」があった。そこで、カウベルホールの存続と早期改修に関する署名を提出された5,263人の町民のみなさんの熱い思いをどう感じておられるか。

答

運営できる体制が整わないと難しい **福本町長**

希望する人があそこで子どもたちのためにか、自分たちの踊りも披露したいと、いろいろ本当に5,000余の署名の中にはあったとは思いますが、そちらの運営できる体制が整わないとなかなか難しい現状があるのではないかと思います。

問

まなびタウンとうはくの「多目的ホール」は、収容人数さらに音響効果などの面から決してカウベルホールの代替施設とはなり得ない。どう思われるか。

答

カウベルホールの代替施設ではない **福本町長**

私見であります。まなびタウンは、カウベルホールの代替施設とは思っておりません。カウベルホールを条例廃止するまでにいろいろな有識者の方等を集めての会議が開けなかったのも、再度関係する方を含めて議論にあげてもいいのかなと今現在思っております。

問

今年の4月に旧東伯町地域が新たに過疎地域に指定され、過疎対策事業債で対応すれば財政的な事情も緩和されるので、カウベルホールの改修にかかる最低額費用を再度見積もっていた

き、再開できないか。検討なされないか。

答

過疎債の計画がまだできていない **福本町長**

東伯地区が地域指定になったとはいえ、過疎債の具体化計画はまだできておりません。



カウベルホール

問

サッカー場を含めたPFI方式の中に天然芝を使用するということがよろしいか。

答

天然芝の使用は断定していない **福本町長**

そこは断定しておりません。新たなPFIの中でサッカー場も含めて議論するというものですので、その辺りもきちんと詰めてから議会のほうには提案しなければいけないと思っております。

問

琴浦町の基幹作物である日本芝の活用を考えていただきたい。

答

公共施設などで利用している **福本町長**

日本芝は公共施設、あらゆるところで利用しています。芝の販路はほとんど町外なのでそちらのほうにも力を入れていかなければいけないと思っております。



澤田 豊秋 議員

問

- ①町政の基本姿勢は
- ②公約の具体化は
- ③今後の財政運営をどのように進めるか

答

- ①何よりも「人を大切に」
- ②今後早急に詰めていく
- ③18%を超えないように

福本町長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (12回 30分 + 45分) 75分

町長の政治姿勢について

問 町政の基本姿勢は

町長はどのような考え方で町政に望まれるのか。

答 何よりも「人を大切に」 福本町長

所信表明で述べさせていただいた。町政の基本は、何よりも「人を大切に」することにある。

問 公約の具体化は

「町民一人ひとりが主役の行政に」と掲げた公約をどのように具体化していく考えか。

- (a)産業、経済を支え、次代を担う若者への事業継承の支援は重要である。そういう中でDX*の推進は欠かせないと言っているが、先達の英知をどのように繋げていく考えか。
- (b)公共施設、公営住宅等施設の維持管理は喫緊の課題であり、公共施設等の調査は大切だが、その後の対応等を住民に分かりやすく見える化すべきと思うが。
- (c)子育てに対する支援と環境の充実で、子育て世代の負担軽減のためにも、学校給食費の無償化に踏み切る考えはないか。

※DX (デジタルトランスフォーメーション)
 ・進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること。
 ・既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なイノベーションをもたらすもの。

(d)選挙期日の見直しは、色々な意味で大事なことだと思うが、選挙期日を見直し実行する考えがあるか。

答 今後早急に詰めていく 福本町長

- (a)スピード感をもって取り組んでいく考えである。
- (b)内部で今後早急に詰めていきたいと思っている。
- (c)県下の状況や財政的な面を今一度洗ってみたいと分からない。保護者にとってはありがたいが、検証すべきだと思っている。
- (d)見直すというのは大変な作業だと思います。こんな時に選挙をするなという声も聞きますし、期日を早めるとなると、我が身を切ることにもなりますが、検討していくべきではないかと思う。

問 今後の財政運営をどのように進めるか

人口減少に伴う町税収入の減少や地方交付税の減少が見込まれる中、高齢化による社会保障関係経費の増加、公共施設の老朽化によって今後も多くの建設事業が予定されており、厳しい財政運営が見込まれると思うが、今後の課題をどのように整理され進めていく考えか。

答 18%を超えないように 福本町長

全体を見直しながら、18% (実質公債費比率) を超えないようにやっていかなければと思っている。
 暮らしに密着した部分を大事にして対策をとっていかなければと思う。



- ①住民にとって利用しやすい窓口を
- ②来客者への接遇マニュアルはあるか
- ③「分庁舎」の呼称について



- ①なじみのある町民生活課を設置
- ②マニュアルはあるが実行できていない
- ③県内の事例を参考にさせてもらう 福本町長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (10回 16分 + 19分) 35分



田中 肇 議員

住民サービスの向上について

問 住民にとって利用しやすい窓口を

市町村は、国や都道府県と異なり、直接住民と関わる身近な機関、自治体である。

このため、住民サービスの向上は行政において最優先課題であると思う。

特に、本庁舎は町民をはじめ窓口利用者にとって不便である。

住民にとって利用しやすい窓口を考えているか。

答 なじみのある町民生活課を設置 福本町長

窓口が利用しづらいというところは私も感じております。

町民の皆さんからも、このことは聞いておりましたので、本議会に町民生活課を設置する機構改革案を提出させていただきました。

問 課の名称が分かりにくい

本庁には、すこやか健康課、福祉あんしん課、子育て応援課という3課がある。国保や介護保険の手続きをどの部署に行けばよいのか、町民にはなかなか分からない。

答 一目で分かるような表記に 福本町長

課の名称もかなり変わってきており、その都度、町民の方も「何課だったかいな、健康何たら」とか、そういう聞き方をしてこられます。

これは課名を覚えてもらっていない事実と、もう1点、どういう業務をやっているのか見えてこない部分があります。一目で分かるような表記にしていけたらと思っています。

問 来客者への接遇マニュアルはあるか

窓口対応について、来客者に対する接遇マニュアルはあるか。

※接遇…応接処遇の略で、対応すること、もてなすこと。

答 マニュアルはあるが実行できていない 福本町長

「町民の声」で近年、職員の接遇について指摘を受けておりますが、課の内部だけでなく、管理職もあわせて指導要請しているところです。

また、マニュアルはあっても町民目線で寄り添うということが、まだ窓口ではできていないのかなというのが私の感想です。

「分庁舎」の呼称について

問 赤碕地区住民からの問いかけ

他町は地域や旧町名を使用しているが今回の質問のきっかけは、「分庁舎」という呼称はおかしくないかという、赤碕地区住民の方からの問いかけがあったからである。

県内の状況を調べると、それぞれ地域や旧町の名称を使用しており、これは周辺の住民の方の誇りにもつながる方法と思うが。

- 北栄町…大栄庁舎、北条支所
- 南部町…法勝寺庁舎、天萬庁舎
- 八頭町…船岡庁舎、八東庁舎
- 湯梨浜町…湯梨浜町役場、東郷支所、泊支所
- 大山町…大山町役場、大山支所、中山支所

答 県内事例を参考にさせてもらう 福本町長

県内の事例を伺い、地名を残す表示は、いいことだと思うので参考にさせていただきます。



川本 正一郎 議員



- ①持続可能（SDGs）な町づくり
- ②スマート農業の現状



- ①広報と環境問題の取り組み
学校教育などでの取り組み
 - ②スマート農業の役割
- 福本町長
田中教育長
福本町長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (13回 28分 + 52分) 80分

持続可能（SDGs）な町づくり

問 国連が定めた、貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正などの目標を2030年までに達成することが重要だとされているが、琴浦町の現在の取り組み状況を伺う。

答 **広報と環境問題の取り組み** 福本町長

SDGsの項目全てに各課で取り組んでおり、担当課を企画政策課内に設けて広報活動をしている。環境面ではごみ問題に取り組んでいる。

答 **学校教育などでの取り組み** 田中教育長

各学校と学年ごとに、SDGsを年間指導計画に位置付けてジェンダー平等などについても指導している。図書館にはコーナーも設置、教育施設にはステッカーを貼って啓発を実施すると共に、社会教育のほうでもSDGsの学習会や研修会を行っている。

問 鳥取県は「鳥取県SDGsローカル指標」を作成して推進に向けて関係団体と連携・協力して様々な取り組みを進めているが琴浦町との連携を伺う。

答 **SDGs普及啓発の推進** 福本町長

とっとりSDGs自治体ネットワークでは、令和3年に県東部でワーキングチーム会議や普及啓発ラリーでステッカーとかパネルの展示等を実施されており、今後は中・西部での実施が計画されている。

また県事業の企業や団体にパートナー登録してもらい共にSDGsを推進することにも、県と連携しながら取り組んでいきたい。

スマート農業の現状

問 スマート農業は、ロボット技術や情報通信技術、AI・人工知能などの先端技術を活用し、超省力化や生産物の品質向上などを可能にする農業のことですが、琴浦町でも農業従事者の高齢化と担い手不足の解決策として期待されていると思います。琴浦町の現在までの経過を伺う。

答 **実証実験を行っている** 福本町長

昨年度から引き続いてミニトマトで、モニタリングシステムを活用して栽培管理データの収集と生育調査等で、スマート農業技術の習得を図っている。

答 **栽培管理に活用** 山根農林水産課長

耕種農家の各生産部の聞き取りにより新規就農者の確保に向けた農業研修生のミニトマト栽培からミニトマト生産部で取り組むことになった。その中でスマート農業の活用でデータ収集による栽培技術のマニュアル的なものを作成できればと進めている。

問 農業は町の基幹産業であり、スマート農業の今後の取り組みや推進計画を伺う。

答 **スマート農業の役割** 福本町長

今後においては、梨の下草刈り作業、ブロッコリーやスイカ栽培などにも順次スマート農業を進めて省力化を図り、町の将来にわたって農業を持続可能なものにしていく体制が必要だと思う。

問

- ①立候補時リーフレットに掲げられている4項目のうち、重点的に取り組まれる項目は
- ②JA中央農協からの米価下落支援要請は
- ③森林譲与税の町の実態は

答

- ①生活に関係するところを早急に対応する
- ②減収補填、生産意欲の維持を図るため3,715円/10aを交付する
- ③H31年度より森林管理意向調査等に活用

福本町長



手嶋 正巳 議員

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (16回 19分 + 35分) 54分

どのように取り組まれるのか

問 人を大切にとは

雇用と暮らしを守る、生活困窮者への支援、子育ての問題について。

答 働く場は大変重要、弱者の支援をどうするか。

問 地域の輪を広げてとは

自治会ぐるみでの移住定住者ウェルカム作戦。

答 まちづくりセンター構想。古布庄地区の例を参考に。

問 輝く産業経済にとは

農林水産業、商工業ともにAI等を活用しスマート事業化の展開について。

答 スマート農業の推進、ドローンでの施肥。高齢化が進んでいるので、AIを活用しては。

問 壊さない環境、活かす施設とは

公共施設、公営住宅等の在り方を再検討、道の駅「琴の浦」、生涯学習センター、東伯総合公園等のスポーツ施設などについて。

答 公共施設、公営住宅の再検討。道の駅「琴の浦」は齟齬はあったが4月のオープンに向けてエールを送りたい。

JA中央農協からの米価下落への対応は

問 2021年産米概算金、JA中央管内の主要米で10aあたり2万円の減収で、生産費を下回る状況。米農家の生産意欲の維持、経営が成り立つ

よう支援を要請とあるが。

答 コロナ禍という限定ではあるが、収入保険の補填額を引いた残りを町が見る。10aあたり3,715円。

問 JAに出荷した人が対象か。

答 栽培面積は町で把握できるので、対象農家に支払う。



JA施設の保管米

森林譲与税 町の実態は

問 森林の整備保全へ国が地方自治体に配る「森林環境譲与税」の5割超が使われていないという問題が起きている。国は市町村や森林組合などへ意見聴取を始める方針と聞いているが。

答 意見聴取は承知していない。

問 森林譲与税は何に使われているのか。

答 森林管理意向調査をH31年度から実施、R13年度までやる予定。また普及啓発で木育教育、木育事業活用備品整備に使用。

問 森林譲与税基金に積んであると思うが。

答 現在R3年度見込みで、990万5,000円である。



川本 善孝 議員

問

- ①町長選で示された民意は
- ②まなびタウンなどの公共工事の見直しは
- ③子育て支援策は

答

- ①民意だと思っている
- ②まなびタウンは必要最小限（空調など）にとどめたい
- ③子育ては一番重要なことだと思っている 福本町長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (4回 19分 + 12分) 31分

問 町長選で示された民意は

組織もなければ時間もないという圧倒的に不利な状況にもかかわらず勝利された。大型の事業よりも暮らし第一のことをしてほしいという町民の意思・意向が大きく反映していると思うがどうか？

答 民意だと思っている 福本町長

回ってみて、そのような意見も多く聞いた。多分同じことを感じているんだなあということを感じた。

問 まなびタウンなど公共工事に批判が多いが

まなびタウンの改修について、町民アンケートでは批判的な意見が64%（2／3）になったが。

答 まなびタウンは必要最小限（空調など）にとどめたい 福本町長

社会福祉センターは3団体（社協、土地改良区、浦安地区公民館）が同居という形なので、それぞれの業務に支障がないようにやっていきたい。

東伯総合公園は、赤碓運動公園も含めてPFI構想があるが、メリット、デメリットを含めて十分時間をかけて協議をすすめていく。議会にもその都度お示しする。もう一度一緒に（PFIについて）勉強したほうが良いと思っている。

問 子育て支援策は

TCCのアンケートでは町政に望む第1位になっている。大山町では給食費全額助成が議案として出ていると聞いたが。

答 子育ては一番重要なことだと思っ
ている 福本町長

お金が絡むと、目に見えて、よくやったというような評価を受けるかもしれないが、目に見えない部分でも支援を行っていかないといけないと思う。あまり表立って上げないような対策も打っていかねばならない。大変地味な作業になる部分もある。



琴浦町社会福祉センター



まなびタウンとうはく

問

- ①人権尊重の社会づくり条例の基本的対策は
②より効果的な人権教育・啓発の具体策は

答

- ①人権施策基本方針を定め具体的実施体制を組む 福本町長
相談体制と教育・啓発の推進を重点に人権施策基本方針を推進 田中教育長
②知識と実践を重ね、現場で生かされる研修が大切 福本町長
行政職員にはいろんな機会をとらえて研修をしている 田中教育長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 (9回 20分 + 34分) 54分



谷田 順子 議員

問 人権尊重の社会づくり条例の基本的対策は

条例には、町の責務で施策を積極的に推進する。また、町政のすべての分野で人権尊重の社会的環境づくりと、人権意識の醸成及び高揚に取り組むと明記されているが、その基本的な対策は。

答 人権施策基本方針を定め 具体的実施体制を組む 福本町長

町が取り組む人権施策は、教育啓発の推進・推進体制を確立して調査を実施・相談支援の充実・各分野別施策の推進をあげており、人権施策基本方針を定め進めていく。

答 相談体制と教育・啓発の推進を重点として、人権施策基本方針を推進する 田中教育長

町全体がどこでも相談を受け、関係機関と連携して解決につなぐ相談体制の推進。差別する人(マジョリティー側)に対する教育として発達段階に応じた教育を推進するため、園・学校と連携して推進していく。

問 より効果的な人権教育・啓発の具体策は

意識調査によると、研修会に参加した回数が多い人ほど人権に対するイメージは理解が進むと回答している。

調査結果を役場内でどのように議論されたのか、また、役場職員の人権研修の在り方についても教えていただきたい。

答 現場で生かされる研修が大切 福本町長

研修を何度重ねても、認識・知識の範囲で終わっていると実践には結びつかない。その都度はと振

り返って意識して見るのが大切。知識と実践を重ねていくことが必要。

答 行政職員には様々な機会をとらえて研修をしている 田中教育長

調査結果からは、人権研修に参加する機会が少ないグループは、人権が重要と回答する割合が少なかった。

町職員・学校・園については定期的に職場内研修をしている。機会を通じて研修の回数を増やすことが大きな効果を出すと思っている。

問 相談体制の推進は具体的にどう進めるのか

人権施策基本指針に大きな一つの柱としてあげられている相談事業の推進、相談窓口を活用できない場合は具体的にどのような方法で実施される予定か。

答 連携体制を整える 福本町長

人権に関する分野は広いので、担当課だけでなく各課が意識を持つことが必要。各部署との連携体制を整えていく必要がある。

答 民生委員や地域の関係者と連携して行う 田中教育長

町のどの機関でも相談を受け、問題解決に向け様々な機関との連携体制をつくっていく。

また、地域で孤立している方たちへの対応は民生委員や地域の情報を持つ関係者と連携しながら進めていく。



金光 敦 議員



社会体育施設を
利用しやすい環境に



オンラインによる
予約システムを検討 福本町長

質疑応答時間 (3回 4分 + 7分) 11分
(質問) (答弁) (トータル)

問 体育施設が使用しづらい

琴浦町では様々な体力づくりのイベントが行われスポーツ振興に理解がある一方で、体育施設の利用方法が使用日の5日前に申請を必要とする利用しづらいものになっている。より多くの町民の方に運動する機会が増えるよう、以前のように当日申請ができるようにするなど、体育施設を利用しやすい環境に整えるべきだと考えるが。

答 新システムで利用環境は改善 福本町長

体育施設等で職員の体制が縮小しており対応が困難になっているのは事実であるが、法令遵守が求められる中、条例や規則に沿って運用しているところである。

今後はオンラインによる予約システム導入を検討しており、それにより利用環境はいくらか変わるものと思う。体育施設使用日の5日前に申請が必要であることも、もう少し検討の余地があるのではないかと考える。

答 使用者の利便性は検討課題 田中教育長

現在、体育施設を使う場合において、5日前に申請して許可を得てから使うという規則がある。以前は当日申請でも体育施設を使えたという状況があったが、規則に沿ったものではないため、当日申請を受けることはできない。

個人や企業が管理する一般施設とは違い、公的機関が管理するものであるため、当日使用を可能にするには条例をつくるなどしないといけないため、いろいろな方との相談が必要になる。

利用する方の利便性のため、オンラインでの予約

で、もっと短期間に体育施設を利用できるシステムをつくろうと考えている。



町総合体育館

問 管理体制変更は

PFI[※]での管理体制に変わるのはいつ頃になるか。

答 回答できない 田中教育長

PFIであれば体育施設の当日利用も可能になると思うが、導入するかは未定であるため回答できない。

問 今の仕様はいつまで

5日前に申請を必要とする今の仕様は当分続くのか。

答 新システム導入まで 田中教育長

新システムが導入されれば、より利用しやすい仕様になると考える。

※PFI (民間資金等活用事業)

公共サービスの提供に際して、従来のように公共が直接施設を整備せずに民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービスの提供をゆだねる手法。



町長選での課題山積事業 どう対応し解決されるのか



各事業最適な運営、長寿命化、
安全性のため改修は必要であり検討する
福本町長



小椋 正和 議員

質疑応答時間 (43回 (質問) 30分 (答弁) + 60分 (トータル)) 90分

道の駅琴の浦

問 赤碕漁協と話はされたのか

漁協が撤退して、他の業者を公募していることを知っていたうえで、お願いに行かれたのか。また応募があった一社だけの選考になったが、選考は適切だったか。

答 指定管理による運営 福本町長

赤碕漁協には、話し合いには行かせていただいた。今後の運営は、指定管理者による運営に移行し、民間のノウハウを活かし魅力アップを図る。

まなびタウンとうはく

問 空調設備は待ったなし

空調設備は待ったなしとの報告を受けているが、今後の維持管理はどのように考えておられるのか。改修案は実施されないにしても、ワークショップで出された意見の対応はどうされるのか。

答 安全性の改修は必要 福本町長

全体リニューアルについては見直すものの、施設の長寿命化や安全性のための改修は必要であり、改修内容および、財源を検討する。



まなびタウンとうはく

東伯総合公園のPFI

問 サッカー場を含めたPFIは

総合公園改修に関する官民連携事業として整備していくということで、今日まで説明を受けてきているが、今後の整備はどうされるのか。

答 最適な手法で実施 福本町長

PFI方式の事業効果を検証のうえで、最適な手法での事業実施を予定している。

公民館、こども園

問 12月議会で採択

議会において採択された案件に適地ではない。優良農地をつぶして取得していて、価格にも問題があるとの見解だが、何が疑問なのか。

答 住民意見を反映 福本町長

ワークショップ等により住民の意見を反映した設計であり、今後検討をしていく。

カウベルホール

問 決断は町長ですもの

条例で廃止になったホールという認識だが。

答 検討をする必要 福本町長

活用するとなれば利活用、管理運営、財源をよく検討する必要がある。



押本 昌幸 議員



TCC特番「新町長に聞く」 (2/9放送) から尋ねる



選挙ビラの項目は、すべて反対 という意味ではない 福本町長

質疑応答時間 (20回 30分 + 47分) 77分
(質問) (答弁) (トータル)

問 番組内容から具体的に尋ねる

- ① 議運でなぜネクタイじゃなければならないか尋ねた。分からないというので調べたら議員の品だと。女性はネクタイをしなくても品位を保てばよいと。ここがジェンダーフリーで問いたいと思う。
- ② 産廃の焼却炉の話だが、どこにも出てない。しかし、業者が八幡地区の住民に対して口頭で説明しており合法的にやる。ほかの県内では法律的には半径200m以上のものを、実際には500m、1km離れてやっている。その辺りを環境から考えて、町長はどう判断するのか。
- ③ 元行政職員の首長、議員は行政手腕等あり行政にとって都合がいい。元職員の町長と元職員の議長が対談することもあり得る、町民にどう映るか。
- ④ コロナ禍で非正規、女性に負担がかかるなかで、行政の対応としてひと通り拾えるところはやっていると思うが。
- ⑤ 「まなびタウン」「物産館ことうら」の問題について。築10数年でリニューアルは早すぎるのか。商業施設なら当たり前で、まして負担がないのならすべき。まなタンも2018年の公共施設レビューから町民が関わっている。基本設計が出てきてから、町民の声がないという。以前に関わった町民はどうなるのか。
- ⑥ TCCのアンケートを受けて、農業が一番だというが、その根拠は何か。第1次産業の人口は20%。出荷額だと農業は120億円、商業は260億円、工業は440億円。代表するのはどれなのか。

【産業構造】ほんとうに農業の町なのか

区分	就業者人口(人)	出荷額
第1次	1,943 (21.3%)	120億円
第2次	2,175 (23.9%)	440億円
第3次	4,818 (52.9%)	260億円

「令和2年度鳥取県市町村要覧」ほか



TCC特番「新町長に聞く」



選挙ビラの項目は、すべて反対という 意味ではない 福本町長

- ① TPO、時と場所と場合、それにふさわしい服装であればいいと思う。
- ② 農業委員会での、農地転用で駐車場という認識だけである。
- ③ 地域の中で役場にいたからと、いろんな役を任せられる。そこから培ったものが区長なり、議員を務めるのであれば、その話にはならない。
- ④ もっと悲惨な状況も私は把握している。支援する態勢が、その人を見るというスタンスに立つことが大事。
- ⑤ 10年たたなくてもリニューアルはある。私の選挙ビラの項目は、すべて反対という意味ではない。課題があり、解決してない部分を挙げただけだ。まなびタウンで、(町民が関わっていた) 部分はある。しかし、議会を通らなかったことだ。見直しをする。
- ⑥ データでは示せない。農業が一番だという概念でしか言えない。

琴浦町議会が全国町村議会議長会より 令和3年度町村議会特別表彰を受彰

令和3年2月8日に町村議会特別表彰を受けました。
選定理由は次のとおりです。

審査会委員長コメント（抜粋）

琴浦町議会は、平成24年に議会基本条例を制定し、積極的に議会活性化に取り組んできた。その後平成28年及び平成29年に一部改正を行いバージョンアップが図られている。平成29年の改正時には、「議会基本条例調査特別委員会」を設置し、議会が自浄作用を発揮するため、条例の見直しとともに、「議会政治倫理条例」等の策定に着手、翌年の平成30年に制定している。より町民からの信頼を得ようとする姿勢の表れであろう。



予算審議においては、これまで予算の組み換え動議や予算修正案を幾度も提出し、活発な議論が展開されており、議会の監視機能を十分に発揮している。

「乾杯条例」制定の経緯も非常に興味深い。平成30年12月、議長を除く15名の内12名を賛成者として「地酒で乾杯を推進する条例案」を議員提案した。委員会での審査の過程で、議員間での自由討議を実施し、より内容を拡大させた「ふるさとの恵みで乾杯条例案」を新たに提案し制定されることとなった。これは議会での柔軟な審議のあり方の好例として評価に値する。

住民に開かれた議会を志向する活動としては、議会改革アンケート調査があげられる。令和元年、町民1,000人を無作為抽出しアンケート調査を実施し、集計結果のデータ分析を鳥取大学に依頼。分析データは議会改革推進特別委員会において、議員定数と議員報酬についての議論の基礎資料とするなど、調査・審査の充実に活かしている。

琴浦町ふるさとの恵みで乾杯条例

豊かな自然や歴史と伝統に育まれた琴浦町で製造されている日本酒若しくは牛乳等または本町で生産された農作物、果実等を原料にした飲料等で乾杯することを推進することにより、地産地消及び地産他消の促進を図り、もってこの豊かな自然に恵まれたふるさと琴浦に対する郷土愛の熟成と地域の食文化の継承及び地域産業の活性化に寄与することを目的とする。（乾杯条例の第1条より）



新体制スタート



川本正一郎 (かわもと しょういちろう)
6回 無所属 65歳



手嶋正巳 (てしま まさみ)
6回 無所属 77歳



桑本始 (くわもと はじめ)
8回 無所属 71歳



澤田豊秋 (さわだ とよあき)
3回 無所属 73歳

議長

大平高志
(おおひら たかし)
3回 無所属 45歳



今回議長に選出して頂き、その責任の重さを感じております。

議会運営に当たっては、全議員の意見を尊重しながら執行部と議論を重ね、町民の皆様の目線に立った開かれた議会を目指すため、職務に全力を傾注する決意です。

町民の皆様におかれましては、引き続き議会に対しまして、ご支援、ご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



川本善孝 (かわもと よしたか)
1回 日本共産党 66歳



金光敦 (かねみつ あつし)
1回 無所属 38歳



小椋憲浩 (おぐら のりひろ)
1回 無所属 60歳

令和4年2月21日、1月に行われた町議会議員選挙後初の臨時議会
が開かれ、琴浦町議会の新しい体制がスタートしました。



井木 裕 (いぎ ゆたか)
8回 無所属 73歳



前田 智章 (まえた ともあき)
8回 無所属 66歳



小椋 正和 (おぐら まさかず)
6回 無所属 72歳



副議長
山本 秀正
(やまもと ひでまさ)
1回 無所属 68歳



桑本 賢治 (くわもと けんじ)
3回 無所属 74歳

このたび、副議長に選出され身が引き締まる思い
があります。

副議長として議長を補佐し、公平・公正な議会運営
に努めてまいります。

地方議会の役割は、地方公共団体の意思を決定する
機能と執行機関を監視する機能を担うものとして、長
と相互にけん制し合うことにより、地方自治の適切な
運営を実現することとあります。これらを認識しなが
ら、琴浦町のさらなる発展に全力で頑張ります。



押本 昌幸 (おしもと まさゆき)
2回 無所属 69歳



谷田 順子 (たにだ じゅんこ)
1回 無所属 65歳



田中 肇 (たなか はじめ)
1回 無所属 65歳

※議席順に掲載
※数字は当選回数

町民の声

敬称略

野菜作りから学んだ楽しみ



三谷康二郎

こんにちは。私は、勤めを15年前に退職して、現在、琴浦特産のハウス西瓜(ぎらり)とミニトマトを主に栽培しています。家庭菜園では、多品目の安心安全な美味しい野菜を、アグリポートに出荷しながら、楽しい充実した生活を送っています。

琴浦町が県外より地域おこし協力隊として、新規就農者を募集した研修生を、受入農家として2年間技術指導を行いました。研修生は、今年の2月より就農され、ハウス西瓜、ミニトマトの栽培管理に励んでいるところです。

西瓜作りは、がぶっとひと口、シャリと甘さが決め手。ミニトマトは、小さな苗を植え、水をやり、肥料をやり、太陽を浴びて、少しずつ手入れをしながら、実をつけ、色づき収穫、一粒一粒のトマトが収穫かごの中では、まるで赤く輝いた宝石のようにも見えます。

野菜作りは、手をかけただけ、応えてくれる。西瓜、ミニトマト栽培においても、高齢化、後継者不足などの問題を解決するために、地元、県内外から新規就農者を受け入れ、町、農協、県、一丸となって、今後も産地の活力強化を図ってほしいです。

私事ですが、今は西瓜の手入れで忙しくしている毎日です。収穫した西瓜が甘くて、美味しい西瓜に仕上がったときは、それまでの苦労が2倍、3倍の喜びに変わります。西瓜後作でミニトマトを12月末まで栽培する予定です。

最後に、野菜作りは、子育てとよく似ています。①土づくり(体づくり)②観察③愛情をかける。苦労しつつも昨年より今年、今年より来年と目標を持って、収穫のときを夢見ながら楽しい毎日を過ごしていきたいと思います。

新たな農本主義の復権を！



真山 育雄

今から50数年前、私たち鳥取大農学部作物学研究室の専攻生7名は卒業を前にして渡部忠世教授の訓導を受けていました。

時折しもそれまでの米の増産運動から、一転して稲作転換いわゆる米の減反政策が始まる年でした。渡部教授は「本年から減反政策が始まるが、これにより我が国の農民の稲作に対する生産意欲は一気に減退し、農村は疲弊していくだろう。しかし世界的に見れば食糧不足であることに依然変わらない。諸君はどうあろうと、農業農村の基本である稲の増収技術の研究と研鑽を絶え間なく続けてほしい」とおっしゃいました。

大学紛争後の挫折感のなかで目標を失いかけていた私たちにとっては衝撃的な訓辞でした。この一言を絶えず胸に刻みながら、今まで農業改良普及員として、また退職後の自家農業に勤めてきましたが、教授が予測した「農民の稲作意欲の減退」は的中しました。

私の地元の農事実行組合でもかつては13戸の農家が小面積ながら、共同で苗を作り水稻を作っていました。今は私1戸だけになりました。その私自身も昨年の米価の低落により、「いつまで稲作が続けられるだろうか」と不安になります。

町政に携わる皆さんにお願いします。規模の大小にこだわらず農業・農村の基本となる稲作生産意欲の持続と、新たな農村集落の担い手としてUターン者を増加定着させるさまざまな支援策を講じていただきたいです。

今必要なのは新たな資本主義でなく、農業農村を維持・復興する新たな農本主義だと思います。

あとかき

『広報委員会』は、定員6名で、新人議員の登竜門。今回の新人議員は近年では珍しく6名。そういう訳で、広報委員会は全員新人議員となりました。

町民の皆様の議会に対する要望は「行政のチェック機能を果たしてほ

しい」「町政のことをもっと知らせてほしい」というものでしょう。

委員一同、この『議会だより』をとおして、少しでも町民の皆様の期待に応えるべく努力していく所存です。よろしく願いいたします。

(善)



議会広報常任委員会

委員長	川本 善孝
副委員長	金光 敦
委員	山本 秀正
委員	田中 肇
委員	谷田 順子
委員	小椋 憲浩

表紙写真

撮影地 東伯中学校グラウンド

題字 山田 美鈴氏